

HPVワクチンって
なんでしたっけ



子宮頸がんから 若い女性の命を守る ワクチンです

HPVワクチンとは...

- ・子宮頸がんの原因ウイルスの感染を予防することができるワクチンです。若い女性の健康を脅かす子宮頸がんの発症を約7割予防します。
- ・報道されているワクチン接種後の幾つかの症状は、ワクチンそのものによるものでなく、主に接種時の痛みなどによる反応です。
- ・痛みや副反応について丁寧に説明することで、最近接種者が少しずつ増えてきています。

子宮頸がんとは...

- ・日本で毎年約10000人の若い女性が子宮頸がんを発症し、毎年約3000人が尊い命を落しています。
- ・我が国の若い女性の検診率は低く、早期発見が難しいのが現状です。
- ・日本では若い女性の子宮頸がんが明らかに増えてきています。
- ・検診を受けていても診断が付きにくい種類の腺がんも増えていきます。
- ・定期検診とワクチン接種の両方が、女性のために非常に重要です。

そしてHPVワクチンは...

- ・定期接種ワクチンです。
- ・定期接種対象年齢（小学校6年から高校1年相当）であれば予防接種法に則り無料で接種できます。
- ・副反応がでた場合は予防接種法により救済がされるワクチンです。



公益社団法人

日本小児科医会

Japan Pediatric Association